

学びと交流を深めよう!

第46回 日本精神科看護学会

＜ライブ配信日程＞

令和3年6月12日(土)～13日(日)

＜オンデマンド配信期間＞

令和3年6月1日(火)10:00～

7月31日(土)17:00

申込締切

5月14日(金)
17:00まで!

※詳しくは4面へ。



新型コロナウイルス感染防止のため、今年の全国大会はWebで開催します。実際に会えなくても、Webならではのメリットがいっぱい!

ぜひ全国の仲間と一緒に学びましょう!

ぜひLINEにご登録ください!

LINE 日精看公式LINE



参加者に聞きました

Web学会集会ならではの魅力とは?

Merit

1 **好きなときに
何度でも視聴できる!**
～見逃しなしのオンデマンド配信～

アンケートより

- 何度も視聴し、いったん止めてメモをとったり、調べることができました。
- リアルの学会では同じ時間帯に開催しているプログラムに参加できませんでしたが、オンデマンドでは参加したいすべてのプログラムを視聴することができたのがよかったです。



Merit

2 **交通費も宿泊費も
移動時間も
かからない!**

アンケートより

- 感染リスクゼロ、交通費・宿泊費ゼロ、移動時間ゼロ! とても参加しやすかったです。
- 家族の介護・看護があるなか、Web形式だからこそ参加することができました。
- 実際の会場より発表者がリラックスしていると感じました。



Merit

3 **演者の姿も、
資料もよく見える!**

アンケートより

- ライブ配信は臨場感があり、とてもよかったです。
- 演者の声がしっかり聞こえるので、リアル学会よりも集中できました。



Merit

4 **発表者と交流できる
質疑応答ルームあり!**

チャット機能でメッセージを送信、
緊張せずに質問できます!

前もって
オンデマンド配信の
発表を見て質問!



- 画面越しに1対1で質問でき、発表者との近さを実感する瞬間がありました。
- チャットでの質問は、大きな会場でのリアル参加より気兼ねなくできるので、助かりました。

アンケートより

Merit

5 **パソコンが苦手な人でも、
大丈夫!**

わかりやすいマニュアルもあります!
メールで配信業者への相談もできます。
ぜひチャレンジを!

アンケートより

- Web開催はやや敷居が高いと感じていましたが、ライブ配信の参加の仕方などが詳しく記載されていて、参加しやすかったです。
- 視聴中に、Zoomの使い方を教えていただいたことで苦手意識が改善できました。



シンポジウム：6月13日（日）13：20～15：00

1 予測できない未来に備える 事業継続計画（BCP）と対策

大規模な自然災害、新型コロナウイルス感染症の拡大など、近年は予測していない事態が続き、今後はさらに災害と感染の同時発生などが想定されます。シンポジウムでは被災や支援の経験をふまえながら、このような事態への備えや、災害時に損失を最小限にして早期に通常業務に戻していくための事業継続計画（以下、BCP）への学びを深めます。



シンポジストからー私たちが経験したことー

災害支援を 経験して考える、 これからのBCP



特定医療法人高森会
理事長・院長

高森 薫生

当院は、2012年7月に九州北部豪雨による床上浸水、2016年4月に熊本地震、2016年10月に阿蘇中岳噴火の降灰による設備障害、2020年10月に新型コロナウイルス感染症クラスター発生を経験しました。当院は火山の噴火というリスクがある地域に位置しているという特殊な状況もあり、いままでの被災経験からも、一般的なBCPでは不十分であることを痛感しています。

実際、非常時に重要だったのは患者さんの食事や排せつ等に関する明確な方針決定や、指示・命令ができる院内対策本部の立ち上げでした。毎日2回ずつ集まって現状分析、対策決定、実行、評価をくり返し、「我々には何ができるのか」を考えること、具体的な言葉で表現すること、現場の看護師が勤務を続けるために組織が何をすべきかを考えて決定することが大切でした。また、人材の確保、特に施設整備課、栄養科等の重要性も再認識しました。熊本地震では支援と受援のどちらも経験し、地域における共助のネットワークも欠かせないと実感しています。

このような経験をふまえて、これからのBCPの課題を共有したいと思います。



クラスター発生時に益城病院からいただいた支援物資

新型コロナウイルス 感染症と メンタルヘルス支援



公益財団法人慈愛会
谷山病院 看護部長
兼 精神科統括看護部長
日本精神科看護協会 理事

中菌 明子

当院は、昨年4月、鹿児島県の要請を受け、新型コロナウイルス感染症の患者さんを受け入れる専従病棟（5床）を立ち上げました。感染予防対策と同時に、専従病棟のスタッフが安心して働けるようにメンタルヘルス支援体制を整え、通勤手段や寮の確保、定期的なラウンド、偏見のない職場や地域をつくっていく「シトラスリボンプロジェクト」を実施しています。また、クラスターが発生した県内の病院・施設に2名の精神科認定看護師を派遣し、メンタルヘルス支援を行いました。この経験から、スタッフが休暇をとりやすくするには管理者がまず休暇をとることが必要であること、そのためにほかの管理者が代行するシステムを確立しなければならないことなど多くのことを学び、当院の組織体制づくりにも取り入れてきました。また、コロナ患者さんの受け入れやケアについては多職種を含めたシミュレーションを重ね、全職種で共有しています。シンポジウムでは、災害発生時でもスタッフが安心して働ける「安心・安全の組織体制づくり」に向けた課題をみなさんと共有したいと思います。



シミュレーションの様子

BCPはなぜ必要なの？



神奈川県立精神医療センター
連携サポートセンター
副センター長兼
地域連携・訪問支援科長
厚生労働省委託事業 DPAT
事務局インストラクター

石田 正人

私はDPATとして災害支援に携わっています。支援の際には圏域や自治体全体を見ながら「どういう病院が被害を受けやすいか、受けにくいか」ということを予測しながら支援にかかわります。たとえば西日本豪雨では岡山県が甚大な被害を受けましたが、ハザードマップとほぼ一致していました。地震では、断層の近くにあるかどうかによって、受ける被害も必要な備えも変わってきます。このように、自病院や地域の特性を把握したうえで備えをしておく必要性を、さまざまな災害支援を行うなかで身をもって感じてい

ます。また、当院は新型コロナウイルス感染症については、「神奈川モデル」の重点医療機関として中等症等の患者を受け入れています。この体制をつくる際には、精神科が身体疾患をみられるようにするのではなく、行政や身体科とどう連携するかを重視しました。このように、災害時にも対応できる病院のポイントは、弱い部分（脆弱性）を減らしていくことであり、BCPの考え方と共通しています。シンポジウムでは、災害支援や新型コロナ対応の経験をふまえながら、BCP作成のポイントを伝えたいと思います。



2019年、台風19号の際にDPATで搬送活動を行った

座長からーシンポジウムで語りあいましょー

事業継続のための 課題を共有したい



大阪精神医療センター
看護部 部長
日本精神科看護協会
業務執行理事

奥山 修

災害や感染拡大が発生した場合、事業を継続していくためにどの事業をどのくらい削減するのか、どこを優先的に残していくのかという視点は、病院にとっても非常に重要です。当院でもBCPを作成していますが、ライフラインが途切れた場合にどこからどう調達するかなどの地域連携は進んでおらず、課題は山積しています。皆様には、ぜひさまざまな施設の取り組みや課題を共有し、自施設でできることを持ち帰ってほしいと思います。

管理者に 「いまできること」を 吸収してほしい



一般財団法人創精会松山記念病院 事務長
日本精神科看護協会業務執行理事、精神科認定看護師

吉野 百合

BCPに関しては、幹部が事態の収拾と事業継続について何が必要かをすりあわせておき、統率力をもつこと、現場は患者さんと職員の安全を守る訓練を行うこと、この2つの組み合わせが大事だと感じています。コロナ対策でいえば、発生時のシミュレーションやその手前の手指衛生の徹底など、これも備えであり訓練です。管理者の皆様には、いまできることを吸収していただき、備えとなる有益な機会になると確信しています。

6月12日(土) 13:00～17:30 / 6月13日(日) 9:00～11:10

看護管理者必見!

2 第1回精神科看護CONGRESS

これからの
精神科看護をつくろう!



吉川 隆博
日本精神科看護協会 会長

精神科看護 CONGRESS は、日本精神科看護協会が当該年度および将来に向けて、精神科看護にとって重要課題と考える事項と、それに対する日精看としての取り組みなどを会員に直接説明をする場です。当初は昨年度に第1回を開催する予定

でしたが、学術集会そのものが中止になりました。そこで今回の学術集会(Web開催)において、あらためて開催する運びとなりました。すべての会員に関係する内容ですので、ぜひご参加ください。オンデマンド配信も視聴できます。

日精看の活動報告

6月12日 13:40～15:00

精神科医療・看護における倫理的課題への対応



東 美奈子
日本精神科看護協会
副会長

近年、精神科領域における看護者がかかわる倫理的課題の社会問題化や、これまでとは異なる形での倫理的課題が見られるようになりました。このような現状は精神科医療や看護に対する不信感にもつながり、日精看の活動理念にも反します。また、精神科看護者の働く場所が病院だけでなく地域にも広がってきたことやSNSの普及等でこれまでとは異なる課題が見えてきたことをふまえ、2004年に作成された「精神科看護の倫理綱領」を改定しました。見直しにあたっては外部委員の方の客観的な意見も取り入れ、障害者権利条約や障害者虐待防止法も視野に入れて検討を重ね、皆様からのパブリックコメントもいただきました。CONGRESSでは、長年、精神科医療・看護の倫理問題をリードしておられる吉浜文洋先生から近年の倫理的課題についてお話しいただくとともに、改定した倫理綱領について紹介します。

Agenda

6月12日 15:10～15:30

こころの日の取り組み



西岡 由江
日本精神科看護協会
業務執行理事

毎年7月1日を「こころの日」として、こころの健康の保持増進に役立つ正しい情報発信と、安心して相談できる場の提供を目的に、各支部が活動をしています。しかし、いまの感染状況では、今年度も対面での活動は難しい状況が予測されます。感染症の長期化が人々のこころの健康に影響を及ぼしているいまこそ、すべての支部・会員のみなさんと団結し、こころの健康の普及啓発に取り組みたいと考え「大切な人に届けよう! 日精看こころの看護便プロジェクト」を企画しました。その内容をご紹介します。

Agenda

6月12日 15:30～15:50

政策提言の取り組み



麻場 英聖
日本精神科看護協会
業務執行理事

政策提言をするときには、根拠となるデータの集積が必要です。今後はデータを集積・活用し、政策提言や診療報酬改定の要望等をより説得力のあるものにしていきます。データ集積は会員の皆様から長期的・計画的に行う必要があります。そのために政策調査事業助成金公募規程を設け、今年度は第1弾として、外来における看護面談・電話相談の効果についての調査を公募しました。CONGRESSでは、昨年度の活動実績と今後の活動予定について報告します。

Agenda

6月13日 9:00～9:20

コロナ禍における自殺防止対策への参画



早川 幸男
日本精神科看護協会
業務執行理事

コロナ禍で自殺者が増加するなか、厚生労働省では「こころの健康相談統一ダイヤル」を設置し、自治体による相談対応が行われています。しかし、相談時間が昼間に限られているため、夜間帯の対応を日本精神保健福祉士協会・日本公認心理師協会と当協会が全国7拠点で相談を担当することになりました。当協会では、約200名の相談員を確保して対応しています。相談事例では、緊急性を要し警察に介入を依頼した事例もいくつかあります。本事業の概要について紹介します。

Agenda

6月13日 9:20～10:05

日精看版クリニカルラダーの紹介



榊 明彦
日本精神科看護協会
業務執行理事

日精看の教育事業では「日精看が育成する看護者像」として4つの看護者像を明示しています。教育認定委員会ではそこに示されている看護者の育成に向けて、より体系的な教育を提供するために「日精看版クリニカルラダー(以下、日精看版ラダー)」を構築し、全国の支部と協力して教育事業を展開することをめざします。看護師のクリニカルラダーは日本看護協会が全国に発信し、さまざまな領域で活用されていますが、「日精看版ラダー」では、精神科看護者に必要な臨床実践能力とは何か、それをどのように発展させるかをより具体的に表現し整理しました。CONGRESSでは日精看版ラダーの構成と、日精看の研修会との関連についてご案内します。

Agenda

6月13日 10:15～11:00

特定行為研修制度と精神科認定看護師制度の改正



吉野 百合
日本精神科看護協会
業務執行理事

日精看は、2022年度に特定行為研修制度の開講、2023年度に精神科認定看護師制度の改正を行います。特定行為研修ではフィジカルアセスメント能力を強化してチーム医療の推進をはかるとともに、2025年から稼働する地域包括ケアシステムに積極的に参画できるように備えます。精神科認定看護師制度は、それに加えて学習の利便性の向上をはかり、より多くの精神科認定看護師を輩出することで精神科看護の質の向上をめざします。ぜひ「こころもからだも見る」新認定制度を知る機会にご参加ください。

Agenda

制度・法改正などに関する最新動向をキャッチしよう!

6月12日 16:00～16:30

看護者の働き方改革

石田 昌宏 参議院議員

働き方改革の推進には、病院管理者や看護管理者など、組織全体として取り組む必要があります。勤務形態など現在の慣習を改めて見直し、看護者が生き生きと働くことができる職場を考えてみましょう。

Agenda

6月12日 16:40～17:30

「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」を一挙解説!

厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部精神・障害保健課

精神障害の有無や程度にかかわらず、だれもが安心して自分らしく暮らすことができるよう、重層的な連携による支援体制の構築が求められています。昨年3月から厚生労働省で審議されてきた「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に係る検討会」の経緯や報告書の内容を解説します。

Agenda



3 全国の実践からヒントを得よう!

日精看の演題発表には、精神科看護の本質や、看護実践上の解決に向けたヒントがたくさんあります。コロナ禍で全国の仲間との実践の共有が難しいいまこそ、たくさんの演題から学び、オンラインで交流を深めましょう。あなたの明日からの実践に、必ず役立ちます!

今年は演題数231!
オンデマンド配信だから、
すべて視聴できます!



POINT1

ライブ配信や 質疑応答roomで仲間と学びあおう

質疑応答roomでは、発表者への質問や交流ができます。患者さんとのような対話をしたのか、うまくいかないときにどのような工夫をしたのか……。チャット機能も使いながら、疑問や聞きたいことを率直に質問できます。

質問は
チャットで気軽に!

POINT2

オンデマンド配信で すべての演題が何回も視聴できる

いままでの集合開催では、ほかのプログラムと重なってしまうため、参加できる演題発表は限られていました。オンデマンド配信では、すべての演題が視聴可能です。好きなときに、興味のある演題から視聴できます。

支部推薦演題

支部推薦演題は221題。精神科看護におけるさまざまな領域の演題を19群に分けています。
あなたが取り組んでいるテーマ、知りたい実践のヒントが盛りだくさんです。

- 1群 精神科救急・急性期/依存症の看護
- 2群 統合失調症の看護/セラピー①
- 3群 認知症の看護
- 4群 知的障害・発達障害/多職種連携
- 5群 家族支援/児童・思春期/セラピー②
- 6群 退院支援
- 7群 外来看護/訪問看護/地域ケア

- 8群 ストレングス
- 9群 心理療法/認知行動療法
- 10群 療養生活にかかわる看護
- 11群 治療/服薬支援
- 12群 アプローチ/社会貢献
- 13群 多飲水/身体合併症/ターミナルケア

- 14群 行動制限最小化看護
- 15群 身体拘束/看護倫理
- 16群 暴力防止/司法精神看護
- 17群 看護管理①/災害看護
- 18群 感染予防対策/医療安全/看護管理②
- 19群 看護教育/メンタルヘルス

一般演題A(実践報告・業務改善報告)

新型コロナウイルス感染症対策や認知症看護など、9題の発表があります。

演題名

- 新型コロナウイルス感染拡大期における民間精神科病院による「こころの健康を守る」活動について
- 精神科病院における新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策の実態調査
- 緊急事態宣言後に入院した患者のCOVID-19感染流行による影響の傾向
- 精神病棟を有する医療施設における大規模地震被災時の実態
- うつ病患者の退院後の日常生活におけるセルフケア
- 統合失調症患者に対するユマニチュードを用いた関わり
- 嗜銀顆粒性認知症患者へカンフォータブル・ケアの実践評価
- 頓服薬への依存が抑えられ内服回数がゼロに至ったアプローチ
- 地域の精神障がい者を支援する多職種による看護・介護職地域連携交流会開催報告

看護研究助成論文

今年は1題の発表を予定しています。

発表内容

精神障がい者ピアサポート事業の未整備地域で当事者が抱くリカバリーへの希望と課題
～自助グループメンバーへのインタビュー調査から～
清野由美子(新潟大学医学部保健学科)ほか



おわりに みなさん、Webでお会いしましょう!!

昨年からの新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、多くの学術集会・大会が中止となりました。一方で、Webで開催した学術集会・大会もありました。当協会でも、昨年予定していた全国大会を中止し、専門学術集会をWebで開催しました。

学術集会は、学術研鑽の場としてだけでなく、相互交流の場や精神障がい者のアート作品の展示等を通して、普及啓発の場としても機能していました。Web学術集会では、残念ながらそのような状況を体感していただくことは難しいのですが、オンデマンド配信も含めてほぼ全プログラムをどこにいても自分の好きなタイミングで視聴できるという利点もあります。新型コロナウイルス感染症が終息する時期が見通せないこと、「アフターコロナ」や「ウィズコロナ」が叫ばれるなか、IT化(コンピュータとネットワークを利用した技術)から距離を置くことはできないと思います。この機会にパソコンの操作が苦手な方、これから環境を整える方にも、配信業者から、操作方法も含めて案内する予定です。安心してご参加ください。皆様のご参加をお待ちしています。



早川 幸男
日本精神科看護協会
業務執行理事

プログラムの詳しい情報や 参加申し込みは、 学術集会専用ホームページで!

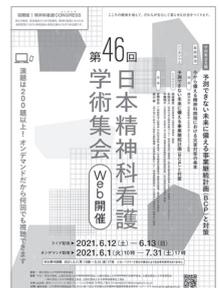


<http://jpna-gakujutsu.jp/zenkoku/>

お申し込み先
東武トップツアーズ(株)
ソリューション営業部 川野辺・渡辺
46web2021@tobutoptours.co.jp

お問い合わせ先
一般社団法人 日本精神科看護協会
TEL03-5796-7033

申込締切
5月14日(金) 17:00



／ 会員の3人に1人が参加しています! ／

今さら聞けない

・日精看から広げよう!社会貢献の輪・

日精看
しごとをつくろう
プロジェクト

「しごつく」Q&A

2013年11月に始まった日精看独自の社会貢献活動「日精看 しごとをつくろうプロジェクト(しごつく)」。
全国10カ所以上の就労支援事業所と提携し、これまで累計250万円を超える売り上げに貢献してきました。

お買い物を通じて「しごつく」に参加した会員は、のべ1万3,000人以上。
日精看のネットワークで、精神障がい者の自立支援の輪が広がっています。

「始めてみたいけれど、どういうプロジェクトなのか、もっと知りたい!」という方へ、今さら聞けない疑問にお答えします。

Q.1

しごつくのカタログと通常の「アンファミエ」のカタログ、どう違うの?

A お買い物できる商品はまったく同じです。違いは、お買物が“社会貢献”になる仕組みがあるかどうか。日精看オリジナルデザインの「しごつくカタログ」でお買物をすると、注文1回につき1個、「お楽しみギフト」が届きます。この「お楽しみギフト」は通販会社ナースステージが提携事業所から一括購入した商品です。しごつくカタログでお買物をすることで、各事業所の売り上げアップ、活動の支援につながります。



Q.2

どんな事業所の支援につながるの?

A 全国各地で精神障がい者の就労支援を行なっている事業所です。会員さんからの推薦や口コミをきっかけに、日精看の理事が直接足を運ぶなどして情報を集め、厳選しています。
病院や施設で働く看護師が普段必要な備品や雑貨などを購入する行動が、地域で生活する当事者の皆さんのサポートにつながる、これまでにない社会貢献の形です。



Q.3

提携先の事業所からはどんな反応があるの?

A 「これまでは近隣のバザーに出店するくらいしか販売の機会はありませんでしたが、『しごつくカタログ』を通じて、全国の皆さんに自分たちの商品が届くようになりました。これまでになかったやりがいを感じます」「100個単位の受注は初めてでしたが、納期に間に合うように一生懸命がんばりました」「通所するメンバー間で前向きな声かけが増えました」といった声が寄せられています。



札幌・生活介護事業びーとの皆さん。



千葉・たぬき工房の皆さん。

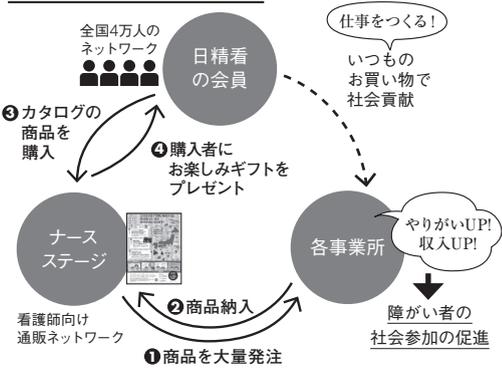
日精看 しごとをつくろうプロジェクトにご参加ください!

2013年11月より始動した「日精看 しごとをつくろうプロジェクト」が、おかげさまで7年目を迎えました! 精神障がい者の自立支援を目的に始まった当プロジェクトは、通信販売でおなじみの株式会社ナースステージの協力のもと、普段の買物を通じて、当事者の方々が希望する「しごと」とつくるというこれまでなかった新たな仕組みで展開してきました。

精神障がい者が自立をめざして働く事業所の商品を大量に発注してナースステージが買い取り、お買物の特典としてカタログ利用者に還元するという仕組みは、「かわいい特典をもらえてうれしい!」「精神障害の方を応援できる」と好評をいただいています。

※株式会社アンファミエは、社名を株式会社ナースステージに変更しました。

無理なく楽しく社会貢献の輪



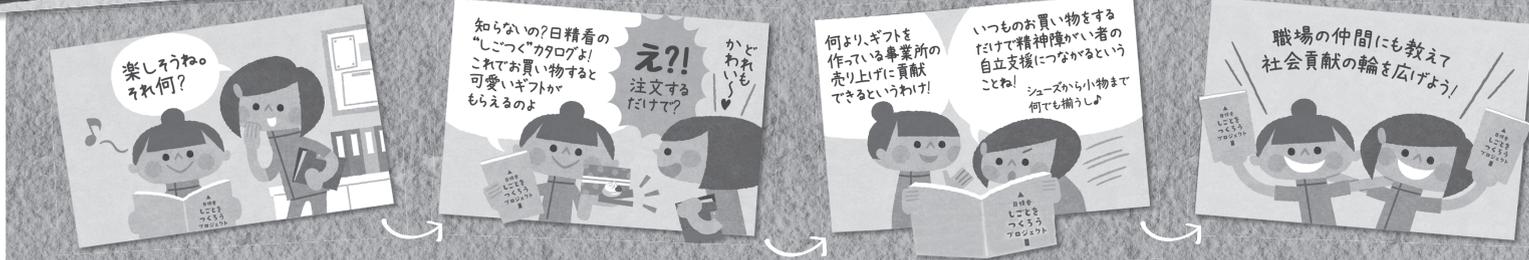
しごつく版「アンファミエ」最新カタログでお買物をするだけ!

カタログは「ナースステージ」と一緒に各施設にお届けしています。カタログの追加をご希望の場合は、送付先、氏名、希望冊数をご記入のうえ、件名を「カタログ希望」として、nursingstar@m-s-com.comまでメールをお送りください。数に限りがありますので、先着順とさせていただきます。



※表紙写真はバックナンバーの一例です。

今さら聞けない「しごつく」って?!



「しごつく」のすべてが分かる動画を公開中!





Action & Report!

日精看の取り組みを中心に、
さまざまな出来事や話題を
ピックアップして詳しくご報告します。

●令和2年度 第4回理事会要旨

令和3年3月20日(土) 14:00 ~ 17:00
会場: Web会議 議長: 吉川隆博 会長

【審議事項】

1. 令和2年度予算の執行状況と事業の進捗状況について審議し承認を得た。
2. 令和3年度事業計画案および予算案について審議し承認を得た。
3. 令和3年度～4年度理事候補の理事会推薦について審議し承認を得た。
4. 定時総会次第案について審議し承認を得た。
5. 令和2年度功労者・優良会員の推薦について承認を得た。
6. 令和2年度の入会について承認を得た。
7. 承認を伴う旅費について承認を得た。
8. 令和3年度研修会申込状況と今後の対策について審議し対策案を得た。
9. 日精看版クリニカルリーダーについて審議し承認を得た。
10. 地区別意見交換の実施について承認を得た。
11. 倫理綱領の見直しについて意見を募った。
12. 第25回精神科認定看護師認定審査会の答申について承認を得た。
13. 特定行為研修制度および精神科認定看護師制度に関する検討プロジェクトについて審議し承認を得た。
14. 政策事業助成金調査課題について審議し調査課題を決定した。
15. 2021.2.13福島県沖地震に関する被害対応について審議し承認を得た。

【報告事項】

1. 医療・看護事業について報告した。
2. 第46回日本精神科看護学会について報告した。
3. 組織強化対策(新入会促進)について報告した。
4. 第15回精神科認定看護師受講資格審査について報告した。
5. アート写真コンテスト開催について報告した。
6. 令和3年度こころの日事業について報告した。

●令和3年度 全国支部長会議要旨

令和3年4月10日(土) 13:00 ~ 16:00
会場: Web会議

1. 令和3年度協会活動方針について説明した。
2. 令和3年度支部事業に関するヒアリング結果を共有し、今後の事業実施体制について検討した。
3. 総会代議員制の導入について検討した。
4. 継続学習支援体制の構築に向けて、支部のブロック別意見交換会の実施について提案した。
5. 連絡事項
 - 1) 定時総会の開催案内と議決権行使について依頼した。
 - 2) 支部推薦論文の提出方法について説明した。
 - 3) こころの健康相談統一ダイヤルの実施状況を報告した。
 - 4) 令和3年度福島県県外避難者心のケア訪問事業について、引き続き依頼した。
 - 5) 政策調査助成金事業について説明し、公募を開始したことを報告した。
 - 6) 2021年度のこころの日の活動について説明した。
 - 7) 特定行為研修制度および精神科認定看護師制度に関する検討プロジェクトについて報告した。

「精神科看護管理ニュース」で管理者に役立つ情報をGET!

日精看では、全国の精神科看護管理者の皆様から寄せられたご要望に応えるため、会員の方々に向けてさまざまな情報や機会を提供してまいります。

2014年4月に創刊した『精神科看護管理ニュース』では、精神科看護管理者に役立つ情報をメールで、無料でお届けします。看護管理に必要な精神保健医療福祉の最新動向、研修会や学会の開催案内など、把握しておきたい情報を手軽に得られます。ぜひ8面のQRコードからご登録ください。

東洋羽毛 PRESENTS

これが自慢! (全国発) 日精看支部紹介

全国47都道府県の日精看支部から、「うちの支部はここがスゴイ!」という活動内容、ご当地ならではのグルメ、お土産のご案内まで、元気なレポートを紹介します。

今月の
支部

奈良県支部
[会員数:242人]



談/東浦雅子支部長

支部長の自己紹介& 支部長としての心がけ

日精看の会員になり25年以上が経ちます。12年ほど前、精神科認定看護師の資格取得を契機に支部役員となり、2020年度より支部長を拝命しました。私の勤務先は大学病院で、現在の配属は一般診療科になりますが、精神科で学んだ「患者さんのこころに寄り添う看護」はどこに行っても通用する基本だと感じています。

奈良県支部が大切にしている ポリシーや強み

古の都、奈良の県民は穏やかでやさしい性格の方が多く感じています。支部役員と事務局で協力しあって、会員の皆さんにとって興味が湧く支部研修会の企画・開催を工夫しています。新型コロナウイルスの影響で集合型の研修会を中止した後も、役員会はZoomを利用したWeb形式を導入し、より多くの役員が参加しやすい日時での定例会に変更しました。今年2月には初めてWeb形式でのトピックス研修会(参加無料)を実施し、県外含めて60名を超える参加がありました。場所を問わず、情報共有・交流ができるのはWebのメリットです。相談や連絡のやりとりの頻度は、かえって高くなったように思います。

奈良県支部主催の研修会、 イベントなど

今年度は7月に退院支援・連携に

関しての支部研修会を、10月には看護研究発表会も開催予定です。いずれも、今のところ集合型で計画中です。

柔軟な対応力が問われる状況が続きますが、役員間のコミュニケーションは「対面で会わなくてもこまめに連携できる仕組み」を取り入れてきました。具体的には、LINEを利用したの情報共有や、クラウドサービス「サイボウズ」を通しての資料共有などです。看護研究発表会に向けての査読も、スムーズに進んでいます。これらの新しい取り組みを推進できたのも、機敏に動いてくださった本部の皆さんのおかげです。

奈良県を訪れたときにおすすめの スポット、お土産、ご当地情報など

日本最古の神社、大神(おおみわ)神社、奈良の大仏で有名な東大寺のほか、歴史的名所が豊富です。柿の葉寿司、桜井市の三輪そうめん、橿原市のだんご庄のきなこ団子、天川村のごろごろ水など、おいしい名物もたくさんあります。

上質な暮らしは、上質な眠りから
東洋羽毛

睡眠健康指導士が教える
気になる「眠り」の
キーワード

今月のキーワード

“エアコンで上手に
温度調整を”

5月の連休明けから段々と気温も上がり、暑さで寝苦しい夜も増えてきます。暑いからといって薄着になり過ぎたり、エアコンの風を体に直接当てると、体が冷えてかえって睡眠の質が低下することも。綿など汗を吸いやすい素材のパジャマを着て体温調節し、エアコンの風は上向きにして寝室全体を冷やすようにしましょう。

お問い合わせ先/お客様相談室
☎ 0120-410840

提供/東洋羽毛工業
<https://www.toyoumo.co.jp>

News & Information 2021.5

学術集会

第46回 日本精神科看護学術集会 in Web 締切間近！

シンポジウム、第1回精神科看護 CONGRESS、演題発表の内容は2～4面をご参照ください。

申込受付締切	5月14日(金)17:00まで		http://jpna-gakujutsu.jp/zenkoku/	参加費	13,200円(税込) / 非会員24,200円(税込) *ID / PW発行の都合により、当日参加の受け付けはありません。
申込方法	学術集会専用サイトより受付				

■ ライブ配信プログラム

会場名	8:45	9:20	9:30～11:00	11:10～12:10	12:10～13:00	13:00～14:00	14:10～15:10	15:20～16:20	16:30～17:30				
6月12日(土) 第1会場 ライブ配信 (Zoom)	ログイン受付	開会式 会長あいさつ	基調講演 予測できない未来に備える 事業継続計画(BCP)と対策 ～新型コロナウイルス・ 豪雨災害などを越えて～	企業セミナー (大塚製薬) 精神障がい者スポーツが 教えてくれる薬物療法 ～統合失調症を中心に～	休憩	第1回 精神科看護 CONGRESS 精神科看護の今後の展望と協会の活動方針 / 精神科医療・看護における倫理的課題への対応 こころの日の取り組み / 政策提言の取り組み 看護者の働き方改革 / 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムを一つ解説							
						質疑応答room							
第2会場 ライブ配信 (Zoom)				質疑応答room		支部推薦 演題3群	支部推薦 演題4群	支部推薦 演題5群	支部推薦 演題6群	支部推薦 演題7群	支部推薦 演題8群	支部推薦 演題9群	支部推薦 演題10群

会場名	8:30	9:00～10:00	10:10～11:10	11:20～12:20	12:20～13:20	13:20～14:20	14:30～15:30				
6月13日(日) 第1会場 ライブ配信 (Zoom)	ログイン受付	第1回 精神科看護 CONGRESS コロナ禍における自殺防止対策への参画 日精看版クリニカルリーダーの紹介 特定行為研修制度と精神科認定看護師制度の改正		支部企画 新型コロナウイルス 感染拡大における 精神科看護師の 役割と課題	休憩	シンポジウム 予測できない未来に備える 事業継続計画(BCP)と対策					
		質疑応答room				質疑応答room					
第2会場 ライブ配信 (Zoom)		看護研究 助成論文 一般演題A	支部推薦 演題11群	支部推薦 演題12群	支部推薦 演題13群	支部推薦 演題14群	支部推薦 演題15群	支部推薦 演題16群	支部推薦 演題17群	支部推薦 演題18群	支部推薦 演題19群

*プログラムは変更の可能性あります。

クラウドキャンパス	オンデマンド配信期間(6月1日～7月31日)	支部推薦演題: 221席	一般演題A: 9席	看護研究助成論文: 1題
-----------	------------------------	--------------	-----------	--------------

定時総会

第46回 定時総会の日程・会場変更のお知らせ

例年、定時総会は、日本精神科看護学術集会(全国大会)の日程・会場にて開催していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止により第46回日本精神科看護学術集会(大阪大会)の開催をWeb開催としたため、第46回の定時総会の日程および会場につきましては、以下のとおり変更します。

日程: 令和3年6月20日(日) 13:30～15:00
会場: 一般社団法人日本精神科看護協会
東京研修会場(東京都港区)

総会会場での感染対策を徹底するため、出席を予定される方は、6月14日(月)までに出席予定用紙の提出をお願いいたします。出席予定用紙は、5月下旬に発送予定の関係書類と同封いたします。欠席される場合は、議決権行使書を6月14日(月)までに協会事務局にご送付ください。出席を予定されている皆様には、感染の状況にご留意いただき、なるべく議決権行使書の提出をご検討いただければ幸いです。

プロジェクト

特定行為研修制度および精神科認定看護師制度に関する検討プロジェクトの報告

当協会では、特定行為研修制度の実施と精神科認定看護師制度の改正をプロジェクトで検討をしました。その結果、令和4年度に特定行為研修を開講するため厚生労働省に指定研修機関として「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」「血糖コントロールに係る薬剤投与関連」「精神及び神経症状に係る薬剤投与関連」の3区分の申請を行うことになりました。

また、精神科認定看護師制度は令和5年度に制度改正を行います。「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」に参画し、地域共生社会に向けた包括的支援を実践するために、「こころもからだも見る看護師」として活躍できる精神科認定看護師の養成を目的とした認定制度になります。

今回の制度改正には、特定行為研修制度の共通科目を精神科認定看護師教育課程に組み込むこと、精神科認定看護師の実践が可視化されるような更新制度にすること、フォローアップ体制の検討などが盛り込まれました。そして、特定行為研

修制度と精神科認定看護師制度の両者を同一年度に活用できるようにする方向です。

当協会では、高度な実践力を発揮し、チーム医療を推進できる看護師の育成を行っていきます。

日本精神科看護学術集会の第1回精神科看護 CONGRESS(3面参照)で詳しい内容を報告します。また、ホームページでもご覧いただけます。



今月号の『ナーシング・スター』にミニポスターを同梱しました

看護管理者の部屋

日精看ホームページの人気コーナー「看護管理者の部屋」をぜひご活用ください。「精神科看護管理ニュース」や診療報酬改定に関する資料をご覧ください。www.jpna.jp



研修会

Web研修会のご案内

5 月6日(木)よりWeb研修会の33タイトルが配信開始となります。今回配信が開始される研修会は、精神科看護実践に必要な基礎知識が学べる内容になっています。

Web研修会は、ご自身のスケジュールに合わせて学習が可能です。計画的に学習を進めることもできますし、実践のなかで「そういえば、あれどうだったかな?」と気になったことも気軽に学習できるのがWeb研修会のメリットです。ぜひ、ご活用ください。

政策企画事業

「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に係る検討会」の報告書が完成しました

令 和2年3月より吉川会長が構成員として参加していた、厚生労働省の「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に係る検討会」の報告書が、令和3年3月18日に完成し、厚生労働省のホームページで公表されました。この報告書では、このシステムの基本的な考え方、重層的な連携による支援体制の構築、普及啓発の推進並びに精神保健医療福祉、住まい及びピアサポート等の同システムを構成する要素について整理され、

今後の方向性や取組についてまとめています。

検討会のなかで吉川会長が提案した精神科訪問看護については、医療機関や地域で担っている具体的な役割とともに、今後期待される役割について、報告書の18ページに記載されています。詳しくは、下記のサイトよりご確認ください。

<https://www.mhlw.go.jp/content/12201000/000755200.pdf>



関係団体との連携

小中学校でも精神疾患の教育を

当 協会は「義務教育で精神疾患を教える偏見を無くしてほしい」というシルバーリボンの会のキャンペーンに賛同しています。このキャンペーンでは、インターネット上で54,878名分の署名が集まりました。

3月19日(金)にシルバーリボンの会が、賛同する他団体とともに文部科学省へ、署名と要望書を



要望書を提出

提出しました。

また、同日に行われた記者会見では、当協会の吉川会長も、精神科に携わる看護者の立場から意見を述べました。記者会見の様子を含めた詳細は、NHKのサイトをご確認ください。

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20210320/k10012925091000.html>



記者会見で意見を述べる吉川会長

Message

日精看を看護者がつながるプラットフォームに!

日本精神科看護協会会長
吉川隆博



日精看を「日本一の精神科看護者のプラットフォーム」にしていきたいと思っています。この10年間で精神科看護者が活躍する場は拡大し、会員の所属施設も多種多様になりました。医療機関のみならず、さまざまな場で活躍する看護者が、日精看の活動を通じて「つながる」ことができる。そのような日精看の魅力と強みを、これからもさらに高めていきたいと思っています。

いまは「五月病」ではなく……

日本精神科看護協会理事
中村博文



新緑のまぶしい時期になりました。新採用者・新入生も少しずつ慣れてきたころでしょうか。このころに無気力になってしまうことを、ひと昔前は「五月病」といっていました。しかし現在は、あまりいないとか……。夏休み明けが、無気力感が増すそうです。職場でも学校でも、新年度は手厚い支援があるせいでしょうか。5月以降が正念場なのかもしれません。

精神科認定看護師制度

精神科認定看護師の登録者819名

昨 年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、精神科認定看護師認定試験の実施が見送られました。精神科認定看護師の新規登録者がいないため、819名に減少しました。今年度は約100名の方が、資格取得をめざして精神科認定看護師教育課程を受講しています。

精神科認定看護師をめざす方のための説明会

こ れから資格取得をめざす方を対象にした説明会を、ライブ配信します。精神科認定看護師を養成したいと考えている看護管理者の方も大歓迎です。お気軽にご参加ください。

また、精神科認定看護師制度は令和5年度に制度改正を行いますので、今年度の受講資格審査は8か月コースのみの募集となります。

●精神科認定看護師をめざす方のための説明会

日時 6月26日(土) 13:00～15:00
開催方法 ライブ配信
申込方法 協会ホームページの「研修会のご案内」からアクセス
参加費 無料
主な内容 制度の概要、精神科認定看護師実践報告、精神科認定看護師の活用など

日精看のSNSにぜひご登録ください!

シェアや「いいね!」もお願いします!



日精看公式LINEの登録は、1面のQRコードから!

Nursing Star

ナーシング・スター No.743 2021年5月1日発行

編集人 鈴木庸
デザイン 川本珠子、畔柳江里、堀田沙友里
(ピーワークス)

DTP・印刷 ピーワークス
運営 コッヘル

発行人 吉川隆博
発行 一般社団法人日本精神科看護協会
〒108-0075
東京都港区港南2-12-33 品川キャナルビル7F
TEL 03-5796-7033 FAX 03-5796-7034
URL <http://www.jpna.jp> E-MAIL info@jpna.or.jp

広告のお問い合わせ nursingstar@m-s-com.com

©日本精神科看護協会 2021
本誌記事、写真、イラストの無断転載を禁じます。

次号(No.744)は2021年6月1日発行です。